

小型重機/フォークリフト取付型
防水型セーフティカメラシステム
ドボレコS
SX-DB150

制御ボックス ファームウェアアップデート手順

ご使用前に本書、本体付属の取扱説明書（保証書付）、取扱説明書内の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ドボレコS(SX-DB150) 制御ボックス ファームウェア アップデート手順

この資料ではドボレコS(SX-DB150) 制御ボックス (以下、制御ボックス)のファームウェアのアップデート手順について説明します。ファームウェアのアップデートにはUSBメモリを使います。

USBメモリを使う方法

“USBメモリでのファームウェアアップデート” をご参照ください。

microSDカードを使う方法について

本制御ボックスはSX-DB200、SX-DB100の様に制御ボックス内部のmicroSDカードを取り出すことはできません。USBメモリをご使用ください。

ドボレコJK(SX-DB200) 制御ボックスの手順は別資料をご参照ください。

ドボレコS(SX-DB100) 制御ボックスの手順は別資料をご参照ください。

USBメモリでのファームウェアアップデート

USBメモリでのファームウェアアップデート

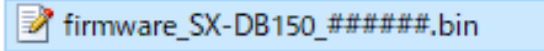
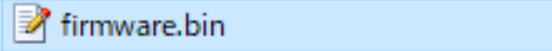
1. 用意するもの

物品	備考欄
電源	<p>シガーソケットへ給電可能なもの(12~24V,3A以上) 電源例：</p> <p>①車両  ②ポータブルバッテリー  ③AC/DC変換アダプタ </p>
制御ボックス	起動可能な状態でご用意ください
モニター	ドボレコS(SX-DB150)に同梱のモニターもしくはHDMI入力が可能なもの
USBテンキー	USBキーボードでも可能です。
ファームウェアを入れたUSBメモリ	次ページ“2.事前準備”で説明します。

USBメモリでのファームウェアアップデート

2. 事前準備

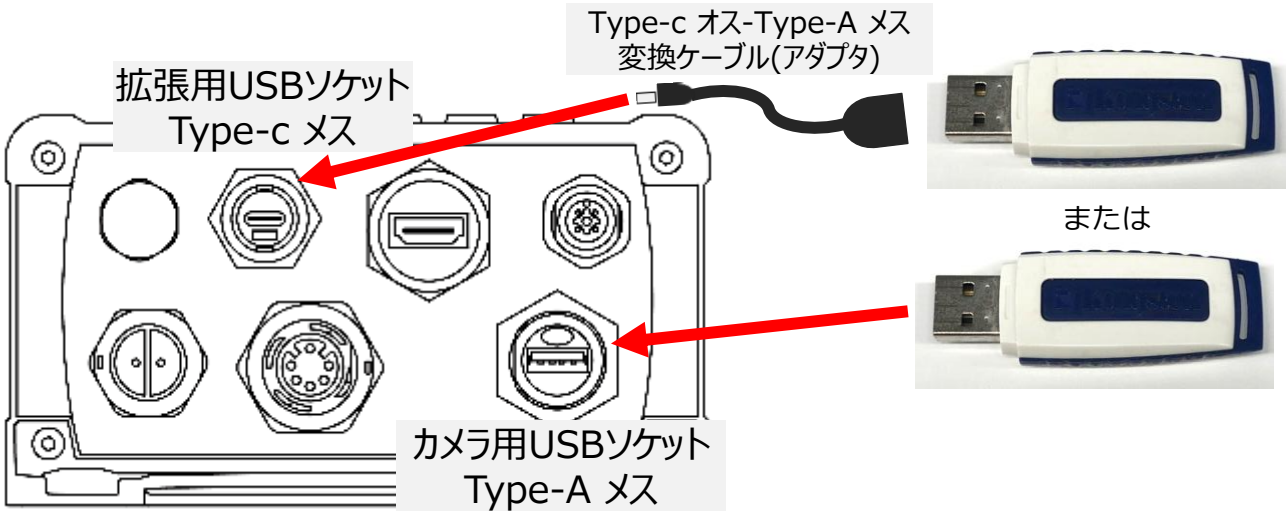
ファームウェアを入れたUSBメモリを準備します。
準備作業はWindowsPCで行います。

手順	作業方法
1	<p>弊社ホームページ(以下URL) からファームウェアをダウンロードしてください。 ※ダウンロード手順はホームページ上に記載しています。 https://xacti-co.com/support/dl_center_doboreco/sx-db150/</p>
2	<p>WindowsPCにUSBメモリを接続します。</p>
3	<p>USBメモリのルートディレクトリ (直下のディレクトリ) にファームウェアを保存します。</p> <p>名前</p>  <p>※ファイル名はバージョンによって異なります。#部分にはバージョン名が入ります。</p>
4	<p>ファームウェアのファイル名をfirmware.binに変更します。</p> <p>名前</p>  <p>※firmware.binはファームウェアアップデート時に自動的に消去されます。</p>

USBメモリでのファームウェアアップデート

3. ファームウェアアップデート

ファームウェアアップデートの作業手順を説明します。

手順	作業方法
1	<p>制御ボックスにUSBメモリを接続します。</p>  <p>The diagram shows a control box with several ports. A red arrow points from the text 'Type-c オス-Type-A メス 変換ケーブル(アダプタ)' to a Type-C to Type-A adapter cable. Another red arrow points from the text 'カメラ用USBソケット Type-A メス' to a Type-A USB port on the control box. A third red arrow points from the text '拡張用USBソケット Type-c メス' to a Type-C port on the control box. To the right, two images of USB adapters are shown, with the word 'または' (or) between them.</p>


USBメモリでのファームウェアアップデート

手順	作業方法
2	<p>電源を制御ボックスに接続し、制御ボックスを起動します。</p> <p>接続前：</p>  <p>制御ボックス 電源</p> <p>接続後：</p>  <p>ファームウェアアップデートが開始されると、自動的に制御ボックスが再起動します。制御ボックス再起動後、1分程度Xactiロゴ表示の起動中画面が表示され、その後、再度制御ボックスが再起動し、通常の画面表示に戻ります。ファームウェアアップデートが完了すると、USBメモリに保存していたfirmware.binは自動で消去されます。USBメモリ内にsetting.iniが自動で作成される場合があります。不要なsetting.iniは消去してください。</p> <p>再起動画面：</p>  <p>Xactiロゴ画面：</p>  <p>通常画面：</p> 

USBメモリでのファームウェアアップデート

手順	作業方法
3	通常画面になったことを確認してからUSBメモリを取り外します。
4	USBテンキーを制御ボックスに接続します。 

USBメモリでのファームウェアアップデート

手順	作業方法
5	<p>メンテナンスモード画面が表示されたらファームウェアアップデート完了です。 正しくファームウェアが書き込めたか確認する場合は、画面右下のバージョン情報がダウンロードしたファームウェアのバージョンとあっているかを確認してください。</p>  <p>電源を落として、USBテンキーを制御ボックスから抜いてください。</p>

注意点

注意点

- ファームウェアアップデートがうまく行われない場合
USBメモリのルートディレクトリ（直下のディレクトリ）にfirmware.binが保存されていることをご確認ください。
ファイル名のスペルが正しくない場合はファームウェアアップデートされませんのでご注意ください。
- ファームウェアが消えてしまう
firmware.binがUSBメモリ内にある場合は、ファームウェアアップデートの成否にかかわらず、自動で削除します。
- SX-DB150制御ボックスのファームウェアはSX-DB150のみがファームウェアアップデートの対象です。
SX-DB150以外のモデルのファームウェアアップデートは出来ません。